

Sports Fukushima

スポーツふくしま

31
2014.3

(公財) 福島県体育協会 〒960-8065 福島市杉妻町5番75号 福島県庁東分庁舎3号館
TEL 024-521-7896 FAX 024-521-7971

みんなで
スポーツを!

I will play sports together!



巻頭言

スポーツ振興に思うこと

明治の初め、西洋から徒競走、走り幅跳びなどが輸入されたが、「アスレティックスポーツ」という言葉を日本語に訳すのは、大変な作業であったようです。結局のところ、明治7年「競闘遊戯会」という訳語に決定したのが、今日の運動会のことです。

この競闘遊戯会を盛んにしたのは、「海軍兵学校」と「開成学校(現東京大学)」であり、これが全国各地に広がり、本県では福島中学(現安積高校)と福島師範学校(現福島大学)とによる合同運動会が明治19年に行われ、このことが本県における「近代体育・スポーツ」の始まりとされ、福島県体育協会の設立につながるようになります。

東日本大震災・原発事故以降、教科体育、運動会、体育祭、部活動等、運動を行う機会や場が減少しました。徐々に回復しつつありますが、児童・生徒の運動能力・体力低下の問題は、安閑としておれない状況です。

平成10年から「新スポーツテスト」となり、体力増進には最善と思われた鉄棒の「懸垂(順手)」が無くなってしまったのは残念です。

21回以上が満点ですが、21回できない者と米一俵(約60kg)担げない者は、男性の資格は無いなどと言ったものです。現在の児童・生徒で懸垂が5回以上できるのは何%いるのか、興味のあるところです。

歩くと言えば、ウォーキング大会としては世界最大の大会がオランダにあります。毎日50kmを4日間連続で計200kmを歩き、身体と精神を総動員、その過酷たるやフルマラソンの比ではないと言います。若い方々、挑戦してみたいはいかがでしょう。

自転車に乗って、「ピタリ」と何分間停止することができるでしょうか。交通事故防止に役立つかもしれません。停止時間22分という記録もあります。かつてオリンピック競技に「綱引」がりましたが、クラス対抗校内綱引選手権大会などはいかがでしょう。行ってみるのも一興でしょう。いずれにしても体力増進のためには、良いと

思われることは行ってみることと、感動を与え続けることが肝要かと思われます。

本県スポーツ少年団は、昭和38年に結成され、昨秋「創設50周年」の式典が挙行されました。

本年は本県中学校体育連盟「結成65周年」、平成27年は福島県体育協会「設立85周年」の節目の年になり、平成29年は県内7地区の本県体育協会地区連合会が「結成40周年」に当たっており、また本県高等学校体育連盟は平成30年に「結成70周年」を迎えることになります。

同じことが各競技団体等にも言えますが、それぞれの「設立・結成」以来、今日までの長い歴史の中に、先人の方々のスポーツ振興への熱い思いが込められているということです。これらの思いや、これまでの貴重な「スポーツ記録・財産」が、この度の大震災・原発事故等により、「損失・散逸」しているのではと危惧するところです。

「歴史とは単なる過去ではなく、私たちの現在と未来を支えるもの」と言います。私たちは、先人の方々への謝意と敬意のためにも、記録・財産の保存に努め、後世に引き継いで行かねばと思っています。

昭和36年制定のスポーツ振興法が、50年ぶりに全面改正され、新たに「スポーツ基本法」が制定され、これに基づき「国・県・市町村」のスポーツ基本計画が整いました。

スポーツ振興に重要なことは、スポーツ団体の努力は当然ですが、国及び地方公共団体が、国際連合教育科学機関「ユネスコ憲章」及び「オリンピック憲章」の理念を理解し、国民及び地域住民の期待に応え、いかに責務を果たしていくかにかかっていると云えるでしょう。

福島県民の歌の3番の歌詞に「楽しいふるさと ふくしまをつくろう 心あわせ つち音絶やさず」とありますが、平成28年は「福島県立県140周年」に当たります。



- 1 巻頭言
- 2 第69回 国民体育大会冬季大会成績
- 3 第69回 国民体育大会冬季大会寄稿
- 6 (公財)福島県体育協会認定
アスレティックトレーナー養成講習会
第2・3回福島県スポーツ指導者研修会
- 7 平成25年度(公財)福島県体育協会表彰式
- 9 うつくしまスポーツキッズ発掘事業

- 11 ウォームアップ・ジャパンfrom Tokyo
ふくしま大運動会
- 12 みんなでつくろう総合型!
総合型地域スポーツクラブ!
- 13 第98回 日本陸上競技選手権大会
第68回全国レクリエーション大会2014福島
PR記事
- 14 平成25年度賛助会員名簿
賛助会員加入のお願い、編集後記

【表紙写真説明】

- 第69回 国民体育大会(写真提供:福島民友新聞社)
スキールペン(網代慈子選手)/アイスホッケー(笠原裕二郎選手)/スピードスケート(水澤彩佳選手)
- スポーツ写真大募集出品作品(関根文夏さん)

第69回 国民体育大会冬季大会成績

1 参加状況

大会	区分	会期	開催地	団 長	参 加 競技数	派遣人数			
						役員	監督	選手	合計
冬季大会	スケート アイスホッケー競技会	H26. 1/28(火)～ 2/2(日)	栃 木 県 日 光 市	佐藤 英壽	2	10	6	35	51
	スキ－競技会	H26. 2/21(金)～2/24(月)	山 形 県 山 上 市	渡部 孝美	1	11	10	49	70

2 競技成績

大会	区分	天 皇 杯				皇 后 杯			
		競技得点	参加得点	得点合計	順 位	競技得点	参加得点	得点合計	順 位
スケート競技会		16点	10点	26点	19位	10点	10点	20点	20位
アイスホッケー競技会		5点	10点	15点	11位	—	—	—	—
スキ－競技会		7.5点	10点	17.5点	16位	6.5点	10点	16.5点	12位
合 計		28.5点	30点	58.5点	24位	16.5点	20点	36.5点	19位

3 入賞状況

スケート競技 競技得点 16点 天皇杯 19位 皇后杯 20位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
少年男子	スピード1500m	7	2	渡 邊 晟	郡山商業高等学校 3年
少年男子	スピード2000mR	5	4	水 澤 拓海	安積高等学校 2年
				鈴 木 大地	安積高等学校 1年
				鈴 木 瑞 騎	郡山商業高等学校 1年
				渡 邊 晟	郡山商業高等学校 3年
少年女子	スピード1500m	1	8	水 澤 彩 佳	郡山商業高等学校 3年
少年女子	スピード3000m	7	2	水 澤 彩 佳	郡山商業高等学校 3年

アイスホッケー競技 競技得点 5点 天皇杯 11位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年男子		8	5	伏 島 祐 司	郡山第一中学校 教員
				木 俵 史 章	小高工業高等学校 教員
				大 内 康 裕	ゼビオ(株)
				笠 原 裕 二 郎	ゼビオ(株)
				中 村 卓 矢	ゼビオ(株)
				本間ジェフリー	ゼビオ(株)
				西間木 涉	アムリタ(株) 郡山三穂田温泉
				鈴 木 克 幸	アムリタ(株) 郡山三穂田温泉
				佐 藤 大 起	郡山地方広域消防組合 郡山消防本部
				佐 藤 永 和	明治大学 3年
				鈴 木 博 敦	東京消防庁 野方消防署
				橋 本 圭 介	八戸学院大学 4年
				鈴 木 秀 宜	札幌大学 4年
				後 藤 佑 亮	東北福祉大学 3年
				中 村 和 平	(株)ネクスコ・パトロール東北 福島事業所
				佐 藤 秀 広	八戸学院大学 4年

スキ－競技 競技得点 7.5点 天皇杯 16位 皇后杯 12位

種 別	種 目	順位	得点	選 手 名	所 属
成年女子A	ジャイアントスラローム	5	4	網 代 慈 子	東海大学 4年
成年女子B	ジャイアントスラローム	7	1.5	竹 林 奈 々 子	リゾートトラスト(株)
少年女子	ジャイアントスラローム	10	1	猪 俣 美 彩	猪苗代高等学校 3年
少年男子	ジャイアントスラローム	10	1	長 谷 部 尚 仁	猪苗代高等学校 2年

※スキ－競技における少年男女の得点は、上位に3名の同道県の選手がいたため、繰り上がりで得点した。



決意表明 五十嵐訓子選手 旗手 渡部 誠選手



スピードスケート少年男子



長谷部尚仁選手

第69回 国民体育大会冬季大会寄稿

ひかりの郷 日光国体を終えて

福島県アイスホッケー成年男子 監督 水野 英暢

今年の成年男子チームは、昨年までの雰囲気とは何か違っていった。

それは良い意味での変化である。平成7年福島国体当時の雰囲気を知っている選手は誰一人としていない。当時を知っているのは、コーチの近藤桂章先生と私の二人だけである。我々二人の中にはいつも歯がゆさがあった。それは、成年男子というカテゴリーの中でありながら受け身の選手が多かったことである。経歴は様々であるが高いレベルでアイスホッケーを経験してきたはずである、その経験が生かされていない。国体に参加できたという安堵感が選手個々に感じられていた気がする。そこが十数年間ベスト8の壁を突破できなかった原因ではないだろうか。

しかし、冒頭に述べたように昨年までの雰囲気とは全く違っていった。アジアリーグ経験者を中心に目標を明確に共有するためミーティングを充実させ、個々のスキルアップを図るためにJ-ice NortheEast (アジアリーグサテライト) の参戦、国体直前の強豪チームとの強化試合など数々のゲームを行ってきた。その中でキャプテンの木俵史章先生を中心にオフェンス、ディフェンスともに選手達が役割を認識し、受け身の姿勢から積極的な姿勢へと変化してくれたことが、初戦の岡山県、2回戦福岡県との戦いでの勝利へとつながりベスト8へと進むことができたと思う。

準々決勝から順位決定戦では敗戦はしたものの、今後福島県がベスト4、優勝への新たな課題やそこに準ずるレベルに達し、十分に戦えることが確認できたと思う。この日光国体は選手達にとっても自信につながったことと思う。この経験や自信を次年度の国体に向けてつなげていければと思う。

最後に、最後まで戦ってくれた選手やスタッフ、選手たちをこれまで支えてくださった皆様、応援をいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

また、福島県民のみなさんに元気を、全国に元気な福島県を届けられるよう精進していきたいと思います。



スキークロスカントリー少年男子



角育美選手 長田愛選手



五十嵐訓子選手



スキークロスカントリー女子

『やまがた樹氷国体』を終えて

リゾートトラスト株式会社 竹林 奈々子

今回の国体の感想をと聞かれたら『心から本当に楽しかった』の一言につきます。国体は特別なタイトル戦であると思いますが、そういった特別感からくるものではなくて久しぶりに大会の独特な空気に触れ、今の生活にはない刺激を再び味わうことが出来たからではないかと感じています。

大学卒業と同時に15年間続けた競技を引退して今年で5年。再び自分がワンピースを着てスタート台に立つ事をシーズン前まで思ってもいませんでした。『スキーをきっぱり辞めて、新しい事を始める』そんな思いで自分の第2のスタートに『会員制ホテル』という場所を選びました。しかしスキーとは縁が強かったのか、冬季はスキースクールに配属になり、就職した第2の人生でもスキーは私の人生の一部となっています。スキーを履く機会はあるにしても競技は私にとって特別な、引退後は競うスキーはもうしないと決めていました。やるならとことんやって成績を求めたくなってしまいう性格なので、仕事との両立を出来るほどのモチベーションはもう残っていなかったからです。

そんな中、今年国体出場に関してのお話を頂き、正直始めはまったく出場する気持ちにはなれませんでした。しかし私も福島に来て5年、たくさんの出会いの中で多くの方のお世話になり、福島の方の優しさに触れてきました。そんな事を振り返るとこれもひとつの節目なのかと考えはじめ少しずつ考えが変わり、私が国体に出場する事で何か役に立てるのであればと出場を決意しました。

実際に福島県選手団として行動させて頂いた国体期間ですが、もともと出身が福島でもないよそ者の私を、相原監督を始めコーチ陣や他のカテゴリーに出場する選手の皆さんもとても暖かく迎え入れて下さり全力でサポートして下さいました。その温かさが本当に嬉しくてなんとしてでもポイントを取りたいと、技術や体力が無い分気持ちが強くなっていった事を覚えています。大会本番の滑走中は無我夢中で、気づけばゴールしていましたが、とにかく気持ちだけは現役時代よりも強くもって滑っていたように思います。

7位という結果に関しては心から満足しています。もっと上を目指せといわれればそれまでですが、自分の中の目標を達成することができたので何の悔いもありません。何より少しではありますが福島県に貢献出来たことを嬉しく思っています。

今回の国体出場にあたりサポート・応援して下さいました皆様の方に心より感謝致します。本当にありがとうございました。



アルペン競技



渡部大輝選手



猪俣美彩選手



スキーアルペン選手団



井上賢之介選手



国体特集

第69回国民体育大会冬季大会 ひかりの郷日光国体

スケート競技会スピード競技 渡邊 晟選手、水澤彩佳選手、黒澤政弘先生インタビュー

・国体を振り返っての感想を聞かせてください。

渡邊選手

1500mではスタートから転倒してしまい前の選手を追う苦しい展開でしたが最後に1人追い抜いて7位に入賞することができました。5000mでは前半に勝負をかけたレースを展開しましたが12位という結果でした。5000mでは入賞できる可能性もあっただけに、全体的には非常に悔しさが残る大会でした。

水澤選手

3000mでは思うように先頭をとらせてもらえず苦しいレース展開でしたが7位に入賞することができました。1500mでは1年生の時に4位に入賞していて今年は3位以上を目標に大会に臨みました。強化合宿等で十分に準備できた甲斐もあり、大会にはリラックスした状態に入ることができました。レースではよいスタートを切ることができいい位置をキープすることができ、レース後半で上手く仕掛け、優勝することができました。応援していただいた皆さんに感謝します。



・今後の進路、抱負について聞かせてください。

渡邊選手

山梨学院大学に進学して競技を続けます。大学4年生の時に平昌オリンピックがあるので出場できるように競技に取り組んでいきたいです。また、大学卒業後も競技を続けていきたいです。

水澤選手

日本体育大学に進学して競技を続けます。大学の先輩に高木美帆さんがおり一緒に練習することでいろいろなことを吸収して競技力を上げていきたいです。大学4年生の時に行われる平昌オリンピック出場が目標です。また、大学卒業後は保健体育の教員としてスケート競技に係わっていただければと考えています。



渡邊 晟選手

水澤彩佳選手

黒澤先生

・国体を振り返っての感想を聞かせてください。

水澤選手が今回優勝することができたのは、今まで本人が練習で培ってきた力と過去の失敗した経験を活かした素晴らしいレースでした。渡邊選手は上位入賞できる実力を持っていただけに、少し残念な結果となってしまいました。この経験を今後に活かしてほしいと思います。



黒澤政弘先生

今回の国体の結果は、選手はもちろんのこといろいろな要因が積み重なった結果であり、協力していただいたすべての皆さんのおかげです。ありがとうございました。

・2人に対して望むことはありますか？

2人が目標に掲げているように4年後に行われる平昌オリンピックを本気で目指して欲しいと思います。代表になったら応援に行きます。

ありがとうございました。渡邊選手、水澤選手の晴れ晴れとした表情が印象的でした。これからの活躍を期待いたします。



渡邊 晟選手



水澤彩佳選手



平成25年度 (公財)福島県体育協会認定アスレティックトレーナー養成講習会

期 日 平成25年11月30日(土)～12月1日(日)

会 場 福島県青少年会館

講 師 【11月30日】 堀川 哲男先生(公立藤田総合病院) 中澤 謙 先生(会津大学文化研究センター)
 小林 光幸先生(ラソラックス鍼灸整骨院) 渡邊 和之先生(福島県立医科大学)
 水野 兼志先生(みずの内科クリニック)
 【12月1日】 吉田 仁郎先生(ARCクリニックよしだ整形外科) 山崎有理子先生(公立藤田総合病院)
 鬼澤 武則先生(おにざわ接骨院)

内 容 県体育協会加盟団体・スポーツドクター部会・スポーツ医科学委員からの推薦者10名を対象に2日間にわたり専門科目の集合講習が行われました。アスレティックトレーナーの役割、スポーツ心理学、スポーツ外傷・障害の基礎知識、内科的障害、検査・測定と評価、予防とコンディショニング、スポーツと栄養などについての講義・実技を通して、受講者はアスレティックトレーナーとしての資質の向上に努めました。認定アスレティックトレーナーも、スキルアップのために3名参加しました。

カリキュラムには、今回の講習に加え、基礎科目として救急法講習や日本体育協会の「スポーツリーダー」講習があり、受講者は今年度中に全てを修了することになっています。

本協会の認定アスレティックトレーナーは現在58名ですが、アスレティックトレーナー部会の活動や研修会等を通して、情報の提供・交換・共有を図り、競技力の向上や生涯スポーツの振興に結びつけていきたいと考えています。



平成25年度 福島県スポーツ指導者研修会

福島県スポーツ指導者協議会では、指導者の資質向上と指導活動の充実を図るために年3回の研修会を実施しています。今年度の第2回は全県ブロックで、第3回は県南ブロックで開催しました。

第2回 全県ブロック研修会

期 日 平成25年11月24日(日)

場 所 ユラックス熱海

内 容 **講 義** 「草の根」から「ナショナル」それぞれの指導者 ～僕たちはジュニア時代の彼らに何を伝えておくべきか～
講 師 島根県グリーンテニススクール・カシワイテニスサービス 代表 柏井正樹氏
講 義 「スポーツ指導の勘どころ その技と心」～体罰の根絶をめざして～
講 師 福島大学人間発達文化学類教授 白石 豊氏



午前の部では、島根県グリーンテニススクール・カシワイテニスサービス代表の柏井正樹先生から、「草の根」から「ナショナル」それぞれの指導者 ～僕たちはジュニア時代の彼らに何を伝えておくべきか～という演題で、錦織圭選手の少年時代の様子やジュニアに伝えるべきこと、またその伝え方などについての話がありました。午後は、福島大学人間発達文化学類教授の白石豊先生をお迎えし、「スポーツ指導の勘どころ その技と心 ～体罰の根絶をめざして～」という演題で、今後の指導で大切なこと(動きのコツを知ること、コミュニケーションスキル、感情のコントロール)について、長年の指導経験を踏まえてのお話がありました。

また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

受講者は、今後の指導に生かそうと、真剣なまなざしで講義に臨んでいました。

第3回 県南ブロック研修会

期 日 平成26年1月26日(日)

場 所 サンフレッシュ白河

内 容 **講 義** 「スポーツ指導方法(体罰の根絶をめざして)」
講 師 清水隆一コーチングカレッジ株式会社 代表 清水隆一氏
実 技 「指導現場における役立つ救急処置」
講 師 日本体育協会公認アスレティックトレーナー おにざわ接骨院院長 鬼澤 武則氏



前半は、清水隆一コーチングカレッジ株式会社代表清水隆一先生から、「スポーツ指導方法(体罰の根絶をめざして)」という演題で、野球の指導者としてのこれまでの体験談やコミュニケーションの大切さ、選手への的確なコーチングのお話がありました。

続いて、日本体育協会公認アスレティックトレーナーの鬼澤武則先生からは、指導現場における役立つ救急処置について説明があり、その後足関節の内反捻挫のテーピングの巻き方を中心に実技指導をしていただきました。福島県体育協会認定の相原、馬場、松山アスレティックトレーナーもアシスタントを務めました。

また、大塚製薬株式会社から、熱中症対策について情報提供がありました。

受講者は、今後の指導に生かそうと真剣に講義を聴いたり、実技に取り組んだりしていました。

平成25年度 公益財団法人福島県体育協会 表彰式

平成25年度公益財団法人福島県体育協会表彰式は、11月27日に福島市のウエディングエルティにて行われました。式では受賞者の呼名の後、各賞代表者に佐藤雄平名誉会長、宗形守敏会長より表彰状が授与され、受賞者を代表して優秀選手賞を受賞された鹿目真美さん（ソフトボール競技）より謝辞がありました。表彰式終了後行われた懇談会では、名誉会長、会長が各テーブルを回り出席者のみなさんと親しく懇談されました。下記は今年度受賞された皆様です。（敬称は省略させていただきます。）

スポーツ功労賞 多年にわたり、本協会の運営並びに事務遂行に貢献し、本県スポーツの振興に功績のあった方々

- 根本 勝也（福島県テニス協会）
- 大津 恒夫（福島県バスケットボール協会）
- 佐藤 光雄（会津地域連合会）
- 深谷 秀三（福島県卓球協会）
- 佐藤とも子（福島県スポーツチャンバラ協会）
- 田口 侑義（福島県ハンドボール協会）
- 吉崎 勝（福島県剣道連盟）
- 桑澤 康（県中地域連合会）
- 古川 智子（福島県なぎなた連盟）

優秀選手賞(個人) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた選手及び国際大会に出場した選手

- | | | |
|--|---|---|
| <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">陸 上 競 技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 青木沙弥佳（東邦銀行） ● 渡辺 真弓（東邦銀行） ● 千葉 麻美（東邦銀行） ● 吉田 文代（郡山女子大学附属高校） ● 武石この実（福島大学4年） ● 吉田 惇（平工業高校3年） ● 荒 裕子（相馬東高校3年） ● 波田野瑠花（磐崎中学校3年） ● 須藤 悠太（鮫川中学校2年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ソ フ ト テ ニ ス</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 檜山 遥斗（西郷第一中学校1年） ● 原野 亜衣（住友ゴム工業(株)白河工場） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">サ ッ カ ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 橋沼 真帆（富岡高校1年） ● 中條 結衣（富岡高校1年） ● 立花 葉（富岡高校1年） ● 北川ひかる（富岡高校1年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">卓 球</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 根本 理世（十六銀行） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ボ ー ト</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 吉川 由姫（東北大学3年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">水 泳</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 小松 桃子（湯本高校3年） ● 安部翔一郎（湯本高校1年） ● 服部 翼（福島成蹊高校1年） ● 加藤 樹（福島成蹊高校1年） ● 寺田 拓未（湯本高校1年） ● 但野 智哉（駒ヶ嶺小学校6年） ● 吉田 佳世（日本体育大学4年） ● 小林 和真（筑波大学4年） ● 吉田 真実（安積第二中学校3年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">自 転 車 競 技</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大木 拓斗（学法石川高校3年） ● 西尾 混平（平工業高校3年） ● 吉田 優樹（日本大学1年） ● 金内 一行（中央大学2年） ● 緑川 裕也（日本大学1年） ● 緑川 竣一（中央大学3年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">バ ド ミ ン ト ン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 大堀 麻紀 ● 矢部 芳光（片柳ディサービス） ● 五十嵐弘之（弘陽社） ● 高松 悦子 ● 増子 トキ ● 半田 賢二（(株)日立製作所情報・通信システム社） ● 塚野美和子 | <ul style="list-style-type: none"> ● 保木 卓朗（富岡高校3年） ● 小林 優吾（富岡高校3年） ● 古賀 穂（富岡高校2年） ● 三橋 健也（富岡高校1年） ● 渡辺 勇大（富岡高校1年） ● 西 豊（富岡高校2年） ● 大堀 彩（富岡高校2年） ● 東野 有紗（富岡高校2年） ● 高橋明日香（猪苗代中学校2年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ボ ク シ ン グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 齋藤 晶（拓殖大学4年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">弓 道</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 渡會 和樹（東日本国際大学4年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ウ エ イ ト リ フ テ ィ ン グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 近内 三孝（田村高校3年） ● 中野 直樹（川俣高校3年） ● 熊川 雄太（拓殖大学4年） ● 吉田 真弘（三春町役場） ● 官野 由佳（J A 郡山） ● 清野 裕司（福島明成高校） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">レ ス リ ン グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 榊 大夢（北信中学校3年） ● 今村 太陽（四倉中学校3年） ● 我妻翔比古（田島高校3年） ● 渡部 広章（日本体育大学3年） ● 角田 友紀（東京農業大学4年） ● 井上 佳子（クリナップ株式会社） ● 鈴木 博恵（クリナップ株式会社） ● 田野倉翔太（クリナップ株式会社） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">フ ェ ン シ ン グ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 佐々木陽菜（福島成蹊高校2年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">な ぎ な た</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 古俣紗由美（会津若松市立第五中学校3年） ● 藤田 らら（会津ザベリオ学園中学校2年） ● 古館 佳樹（会津若松市立第二中学校1年） ● 渡部 悠雅（会津若松市立第二中学校2年） ● 山口 夏実（会津若松市立第二中学校3年） ● 後藤 葵（会津若松市立第一中学校3年） ● 大井川 滯（会津若松市立第四中学校3年） ● 鳴瀬 裕美（会津学鳳中学校3年） ● 成田 結唯（会津学鳳中学校3年） ● 藤城 瑛人（会津若松市立第三中学校2年） ● 齋藤 俊慧（会津学鳳中学校2年） ● 上野 凜花（会津学鳳中学校3年） ● 吉田 天音（謹教小学校4年） ● 大竹 優奈（城北小学校4年） ● 小柴 康隆（テクノアカデミー会津1年） | <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ゴ ル フ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 蛭田 玲於（学法石川高校3年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">カ ス ー</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鈴木 康大（(株)久野製作所） ● 宮田 悠佑（鹿屋体育大学4年） ● 三浦 翔太（専修大学4年） ● 佐藤 貴充（専修大学3年） ● 菅野 寿斗（安達高校3年） ● 中野 友貴（筑波大学4年） ● 小久保南海（安達高校1年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ト ラ イ ア ス ロ ン</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鋤崎 隆也（順天堂大学2年） ● 石塚 祥吾（日本食研） ● 菊池日出子（福島県トライアスロン協会） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">ス ポ ー ツ チ ャ ン バ ラ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 野寺 竜矢（いわき市立第三中学校3年） ● 藁谷 雄太（内郷第一中学校3年） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">障 が い 者 ス ポ ー ツ 協 会</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 森谷 幸生（江戸川大学2年） ● 佐藤 智美（NPO法人シャロームまちなか夢工房） ● 山田 真人（(株)タンガロイ） ● 佐々木真菜（盲学校高等部1年） ● 大堀 誠真（NPO法人スケッチブック） ● 國分 章夫（郡山養護学校） <p style="text-align: center; border: 1px solid #ccc; border-radius: 5px; margin-bottom: 5px;">福 島 県 中 学 校 体 育 連 盟</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 鈴木 颯人（小原田中学校3年） ● 遠藤 日向（郡山第四中学校3年） ● 布川 輝（石神中学校3年） ● 田邊 雅人（西郷第二中学校3年） ● 佐藤勇乃介（西郷第二中学校3年） ● 根本 大地（西郷第一中学校2年） ● 北野 亮介（西郷第一中学校1年） ● 大貫 彩（西郷第二中学校3年） ● 久我奈々子（西郷第二中学校3年） ● 山澤 直貴（猪苗代中学校3年） ● 仁平 澄也（白河中央3年） ● 本田 大樹（猪苗代中学校3年） ● 筑後 恵太（猪苗代中学校2年） ● 佐藤 雄輝（猪苗代中学校3年） ● 久場 圭祐（猪苗代中学校3年） ● 金子 真大（猪苗代中学校2年） ● 久保田友之祐（猪苗代中学校2年） ● 仁平 菜月（猪苗代中学校3年） ● 由良なぎさ（猪苗代中学校2年） ● 永井 瀬秀（猪苗代中学校2年） |
|--|---|---|

優秀選手賞(団体) 本県を代表して全国大会に出場し、優れた成績を収めた団体

陸上競技

- 第61回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 4×100mR 東邦銀行
- 第97回日本選手権リレー 女子4×100mR 東邦銀行
- 第61回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 団体総合 東邦銀行
- 第61回全日本実業団対抗陸上競技選手権大会 女子総合 東邦銀行
- 第82回日本学生陸上競技対校選手権大会 女子4×400mR 福島大学
- 第97回日本選手権リレー 女子4×400mR 福島大学

ソフトテニス

- 第30回全日本小学生ソフトテニス選手権大会 福島県男子選抜

サッカー

- 第68回国民体育大会 サッカー競技 少年男子 福島県選抜

卓球

- 第32回全日本クラブ卓球選手権大会 男子一般2部 GLORY
- 第32回全日本クラブ卓球選手権大会 男子一般2部 福卓会
- 第32回全日本クラブ卓球選手権大会 女子一般1部 福卓会
- 第32回全日本クラブ卓球選手権大会 女子小・中学生の部 喜多方卓球クラブ

剣道

- 第48回全日本居合道大会 団体 福島県

水泳

- 第68回国民体育大会 水泳競技 少年男子B 400mメドレーリレー 福島県選抜
- 第89回日本選手権水泳競技大会 女子シンクロ高飛込 清陵情報高校
- 第89回日本選手権水泳競技大会 女子シンクロ高飛込 福島ダイビングクラブ

自転車

- 第68回国民体育大会 自転車競技 男子4kmチームパーシュート 福島県自転車競技連盟

バドミントン

- 第68回国民体育大会 バドミントン競技 成年女子 福島県
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 男子団体 富岡高校
- 平成25年度全国高等学校総合体育大会 バドミントン競技 女子団体 富岡高校

弓道

- 第61回全日本学生弓道選手権大会 女子団体 東日本国際大学
- 第61回全日本学生弓道選手権大会 男子団体 東日本国際大学

ソフトボール

- 第31回全国高等学校女子ソフトボール選抜大会 帝京安積高校
- 第68回国民体育大会 ソフトボール競技 少年女子 福島県

なぎなた

- JOCジュニアオリンピックカップ第21回全国中学生なぎなた大会 試合競技 団体の部 会津なぎなたスポーツ少年団

ボウリング

- 第68回国民体育大会 ボウリング競技 成年男子 団体戦(4人チーム) 福島県

カヌー

- 平成25年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックペア200m 福島県カヌー協会
- 平成25年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックペア200m 福島県カヌー協会
- 平成25年度日本カヌースプリントジュニア選手権大会 男子カヤックフォア500m 福島県カヌー協会

綱引

- 2013全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア360kg以下クラス 行仁小学校
- 2013全日本ジュニア綱引選手権大会 男子ジュニア360kg以下クラス 木幡べんてんジュニア

福島県高等学校体育連盟

- 平成25年度全国高等学校定時制通信制体育大会 柔道競技 男子団体 福島県選抜

福島県中学校体育連盟

- 平成25年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 男子団体 福島県選抜
- 平成25年度全国中学校体育大会 バドミントン競技 女子団体 猪苗代中学校
- 平成25年度全国中学校体育大会 ソフトテニス競技 男子団体 西郷第二中学校

優秀指導者賞 優秀選手の育成に直接貢献した指導者

陸上競技

- 川本 和久 福島大学

ソフトテニス

- 佐藤 光一 二本松市役所

サッカー

- 齋藤 克幸 相馬農業高校

卓球

- 原 晃 福卓会

卓球

- 柴田 廣道 福卓会

卓球

- 五十嵐修二 喜多方卓球クラブ

水泳

- 志田 正弘 スウィン大教スイミングスクール小名浜

バドミントン

- 朝倉 裕朗 小名浜高校

バドミントン

- 大堀 均 富岡高校

バドミントン

- 本多 裕樹 富岡高校

弓道

- 白石 吉徳 東日本国際大学

ソフトボール

- 和田 広 帝京安積高校

カヌー

- 今村 和美 二本松工業高校

ウエイトリフティング

- 小野寺浩亀 勿来工業高校

ウエイトリフティング

- 鈴木 宗徹 田村高校

ボウリング

- 垣内 泰 菅野建設(株)

綱引

- 小澤 宏史 行仁小学校

綱引

- 内谷 昌史 木幡べんてんジュニア

福島県中学校体育連盟

- 齋藤 亘 猪苗代中学校

福島県中学校体育連盟

- 井戸沼正彦 西郷第二中学校

特別賞 国民体育大会の競技別優勝や世界大会で特に顕著な活躍をした団体・個人

- 根本 理世 十六銀行
- 田野倉翔太 クリナップ株式会社



謝辞 鹿目真美さん



功労賞 深谷秀三さん



優秀指導者 垣内 泰さん



優秀選手・団体 中村駿介さん



優秀選手・個人 近内三孝さん



特別賞 根本理世さん

～公益財団法人福島県スポーツ振興基金(ふくしまスポーツキッズ活動支援事業)～

平成25年度うつくしまスポーツキッズ発掘事業 集まれ!! 未来のアスリート

将来有望な人材の発掘・確保・育成を目的に行ってきた本事業は、今年で9年目を迎えました。(平成23年度は震災の影響により中止)

「スポーツが大好き」「なにかスポーツをやってみたい!!」という小学生を対象に、自分に合った種目や興味のあるスポーツに出会い、夢や希望をもってスポーツに取り組むことができるよう支援をしています。また、昨年度までに選考された6年生や中学生を対象としたジュニアサポートプログラムも実施しています。

第2ステージ◆クロストレーニング◆

第2ステージに選考されたキッズたちは、本協会と競技団体が連携して実施するクロストレーニングに参加しました。

8月の開始式・コーディネーショントレーニングから始まり、12月の宿泊トレーニング・トップアスリート交流会・修了式までの全9回を行いました。

親子食育プログラムでは、今までの食事について改善していく方法を話し合うことができました。宿泊トレーニングで実施したトップアスリート交流会では、元プロテニスプレーヤーの沢松奈生子選手をお迎えしテニス教室を行いました。ボレーやサーブなどを丁寧に教えていただきました。修了式の励ましの言葉では、『負けた時に、どうしたら勝てるかを考えられることや「自分からやるか」「自分がやりたいと思ってやるか」ということが大切。』と貴重な体験を話していただきました。

●クロストレーニングの種目と日程

日程	種目	主管団体	会場
8月31日(土)	コーディネーショントレーニング・開始式	県体協(外部指導者招聘)	あづま総合体育館
9月14日(土)	体協主催プログラム	県体協(外部指導者招聘)	会津学鳳中学校・高等学校体育館
9月23日(月)	ハンドボール競技トレーニング	県ハンドボール協会	本宮市総合体育館
10月20日(日)	水泳(水球)競技トレーニング	県水泳連盟	ヘルシーランド福島屋内プール
10月26日(土)	ボート競技トレーニング	県ボート協会	県営荻野漕艇場
11月2日(土)	アイスホッケー競技トレーニング	県アイスホッケー連盟	磐梯熱海 アイスアリーナ
11月4日(月)			
11月17日(日)	卓球競技トレーニング	県卓球協会	猪苗代町立総合体育館
11月30日(土)	ボクシング競技トレーニング	県ボクシング連盟	磐城緑蔭中学・高等学校 ボクシング練習場
12月14日(土) ～15日(日)	宿泊トレ・修了式・保護者栄養学・コーディネーション トレーニング・体カテスト・トップアスリート交流会	県体協(外部指導者招聘)	あづま総合体育館 宿泊施設

アイスホッケー



トップアスリート交流会(キッズ)



ボクシング



宿泊トレーニング



第2ステージ◆体験プログラム◆

クロストレーニングとは別に小学3年生～6年生までを対象に競技団体主催の体験教室を実施しました。

●体験プログラムの種目と日程

日程	種目	会場
6月29日(土) 30日(日)	なぎなた	福島武道館
7月6日(土)	自転車競技	いわき平競輪場
8月4日(日)	カヌー	東和中学校プール
8月18日(日)	トライアスロン	本宮市白沢B&Gセンター クリナップ
10月12日(土)	レスリング	井上記念体育館
10月27日(日)	水泳 (シクロイブスイミング)	あづま総合体育館 屋内プール
11月4日(月)	アーチェリー	福島県青少年会館 体育館
11月9日(土)	スケート	磐梯熱海
11月30日(土)		アイスアリーナ



体験プログラム
(なぎなた)



体験プログラム
(レスリング)



体験プログラム
(アーチェリー)



体験プログラム
(自転車)



体験プログラム
(カヌー)

第3ステージ◆ジュニアサポートプログラム◆

昨年度までに選考された小学6年生～中学3年生までのジュニア41名を対象に基礎運動能力を主にプログラムを実施しました。保護者を交えての栄養学や保護者対象の応急処置法などの講習会も実施しました。

今年から初めて、宿泊プログラムを「味の素トレーニングセンター」にて実施しました。センター内でトップアスリートたちとすれ違いながら緊張していましたが、さすが「未来のトップアスリートたち」は直ぐに大きな声であいさつをして、積極的にプログラムへ参加していました。これからが楽しみです。

●クロストレーニングの種目と日程

日程	種目	主管団体	会場
6月16日(日) 23日(日)	第1回メディカルチェックテスト	県体協 ARCクリニック よしだ整形外科	ARCクリニック よしだ整形外科
8月4日(日)	メディカルチェック(未受検者)	県体協 ARCクリニックよしだ整形外科	ARCクリニックよしだ整形外科
8月31日(土)	開始式・スポーツ栄養学・テストからフィードバック	県体協 外部講師招聘 ARCクリニックよしだ整形外科	あづま総合体育館
10月27日(日)	コーディネーショントレーニング	県体協 外部講師招聘 おにざわ接骨院	カルチャーパーク郡山
11月10日(日)	第2回メディカルチェックテスト	県体協 ARCクリニック よしだ整形外科	ARCクリニック よしだ整形外科
11月17日(日)			
11月30日(土)	宿泊プログラム	県体協	味の素トレーニングセンター
12月1日(日)	12月15日(日)	県体協	あづま総合体育館
12月15日(日)			
12月22日(日)	メディカルチェック(未受検者)	県体協 ARCクリニック よしだ整形外科	ARCクリニック よしだ整形外科



メディカルチェック①



メディカルチェック②



メディカルチェック③



宿泊プログラム②



宿泊プログラム①



ウォームアップ・ジャパンfrom Tokyo ふくしま大運動会inいわき・in南会津

今年度も東京都、一般社団法人日本アスリート会議が主催する「ウォームアップ・ジャパン from Tokyo ふくしま大運動会」が、いわき総合型スポーツクラブユニオン・南会津地区総合型スポーツクラブユニオンの全面協力のもと盛大に開催されました。オリンピック経験者や日本のトップ選手の指導を受け、参加者は夢のような時間を過ごし、アスリートから元気ももらいました。

参加アスリート

いわき

- ◆藤田 俊哉さん (日本プロサッカー選手会前会長・元サッカー日本代表)
- ◆朝原 宣治さん (北京オリンピック男子4×100mリレー銅メダリスト)
- ◆柳本 晶一さん (アテネ・北京オリンピックバレーボール全日本女子チーム監督)
- ◆松下 浩二さん (バルセロナ・アトランタ・シドニー・アテネオリンピック卓球日本代表)

南会津

- ◆柳本 晶一さん (アテネ・北京オリンピックバレーボール全日本女子チーム監督)
- ◆三科 真澄さん (アテネオリンピックソフトボール銅メダリスト・北京オリンピック金メダリスト)
- ◆岩城ハルミさん (バルセロナオリンピックバドミントン日本代表)
- ◆水井妃佐子さん (バルセロナ・アトランタオリンピックバドミントン日本代表)
- ◆大石 寛之さん (2006年全日本学生選手権大会優勝・2012年世界剣道選手権大会団体優勝)

ふくしま大運動会inいわき

10月20日、子どもから高齢者まで幅広い方々にスポーツを楽しんでもらう目的で行われました。

チャレンジスポーツでは、綱引きや忍者リレー、ロープジャンプをアスリートと楽しみました。また、トランポリンやレクリエーションの体験コーナーでは、多くの方々が日頃できない種目に挑戦しました。アスレチックスポーツでは、トップアスリートから技術指導やスポーツに対する心構えなどのアドバイスを受けながら、運動に親しむことができた運動会でした。

ふくしま大運動会in南会津

11月9日、色鮮やかな山々に囲まれた南会津町において、スポーツの力で南会津郡(福島県)を元気にする目的で行われました。スポーツクリニックでは、オリンピックや世界大会に出場されたアスリートの方々が、子どもたちと触れ合いながら、競技の基礎的な技能や心構えについてご指導くださいました。また、スポーツトークショーでは、競技のきっかけや苦難の乗り越え方などについて熱く語っていただき、思い出に残る運動会となりました。



柳本さんのバレーボール教室



朝原さんの陸上教室



三科さんのソフトボール教室



岩城さん・水井さんのバドミントン教室



藤田さんとロープジャンプ



松下さんの卓球教室



大石さんの剣道教室



スポーツトーク:アスリートよりお話をいただきました。



みんなでつくろう総合型！
総合型地域スポーツクラブ

謹教 スポーツクラブ

「謹教スポーツクラブ」は謹教地区体育連盟を核にして、平成16年4月1日に設立し、この4月で設立10周年を迎えます。子どもからお年寄りまで、誰でも気軽に参加でき、スポーツの持つ「元気・明朗・健康・交流・連帯」があふれる地域づくりをクラブ理念に、多世代の方が楽しく体を動かせる環境づくりを目指して活動してきました。

平成24年度より行っている、「バレーボール教室」は子どもたちの深刻なバレーボール離れ、を食い止めることを目的に、会津バレーボール協会と協力して行っている年間プログラムのひとつです。毎回3名～5名の講師に来ていただき、小学生～中学生の子どもたちにバレーボールの基礎と楽しさを教えています。

また、女性や高齢の方の参加も多いアクアビクスは市の施設と民間施設の2か所の協力を得て開催しています。水の浮力を利用したアクアビクスは、膝や腰、肩などの痛みで運動を諦めていた方にも参加していただける人気教室です。

他にも、昨年度より開催しているヨガ教室や、女性限定の美ボディエクササイズは、今まであまり参加のなかった若い世代の女性がたくさん集まるコミュニティの場にもなりました。

毎年行っている会津若松市との共同事業では、総合型地域スポーツクラブ単独ではなかなか開催が難しかった「小さいお子さんと一緒に参加できるお母さん向けのヨガ教室や、「マタニティヨガ」など、毎年新しいプログラムを行っています。

子どもからお年寄りまで誰でも気軽に参加でき笑顔溢れるクラブに…そして、今、謹教スポーツクラブに所属している子どもたちが、10年後、20年後にUターンして会津に戻ってきて、スポーツをしたい、仲間づくりをしたいと思うときに、謹教スポーツクラブを思い出し、再び参加してくれることを願っています。

お問い合わせ先

謹教スポーツクラブ事務局

〒965-0873

福島県会津若松市追手町2番地内旧会津学鳳高校東側体育館

TEL 070-6950-9147・FAX 0242-23-7742

担当：星



スキー教室



ヨガ教室



バレーボール教室



アクアビクス



もちつき大会

広域スポーツセンター

「総合型地域スポーツクラブ」の創設、育成、定着を支援します。お気軽にご連絡ください。

うつくしま広域スポーツセンター (県体育協会事務局内)

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号福島県庁東分庁舎3号館

<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

E-mail: utsukushima@u-kouiki.jp

TEL 024-526-4680 FAX 024-526-4681

浜通り広域スポーツセンター (いわき市民プール管理棟内)

〒970-8032 いわき市平下荒川字南作101

<http://www.u-kouiki.jp/USC.html>

TEL 0246-29-8608 FAX 0246-29-8608

第98回 日本陸上競技選手権大会開催



福島から走り出す！

国内最大規模の陸上競技会である「第98回日本陸上競技選手権大会」が、福島県で開催されます。

国内のトップアスリートが福島に集結し、最高のパフォーマンスを発揮してくれますので、ぜひ競技場にお越しいただき、選手の皆さんの応援をお願いします。

当日は、サブイベントの実施やにぎわい広場を設置して、福島ならではのおもてなしの心で、福島の魅力・復興を全国に発信していきます。

なお、観戦にはチケットが必要となりますので、詳細は、日本陸上競技連盟ホームページをご覧ください。

日時:平成26年6月6日(金)から8日(日)

場所:とうほう・みんなのスタジアム

お問い合わせ先

第98回日本陸上競技選手権大会福島県実行委員会

事務局 福島県スポーツ課内

電話024-521-7786 FAX024-521-7879

メールsports@pref.fukushima.lg.jp

子どもたちに夢と希望を、未来へ！

全国レクリエーション大会がやってくる！

第68回全国レクリエーション大会2014福島

大会スローガン “福島に 集い咲かそう 笑顔の輪”

2014 9/19 (金)～9/21 (日)

メイン会場 福島市 (福島県内18市町村で開催)

今年9月19日から21日まで、県内18の市町村を会場に、第68回全国レクリエーション大会2014福島が開催されます。現在、50事業のエントリーがあり、これまでの全国レクリエーション大会に比べても大きな規模の大会になります。

第68回全国レクリエーション大会2014福島は、一昨年の第66回福井大会、昨年の第67回福岡大会に続いて開催され、三つ並びの「福の仕上げ」の大会になります。全国から、延べ3万人以上の方々の来県を見込んでおり、本県の復興の一助になればという思いで、スタッフ一同、責任の重さを感じながら、身を引き締めて準備にあたっています。

全国から来県される皆様に、福島県に花開くスポーツ文化の花をご覧いただくためにも、県民の皆様のご支援とご協力をお願いいたします。

【問い合わせ】

特定非営利活動法人 福島県レクリエーション協会

〒960-8153 福島市黒岩字田部屋53-5 福島県青少年会館

TEL/FAX 024-544-1886 メール f-kenrec@bz04.plala.or.jp

平成25年度 賛助会員名簿

～私たちは福島県のスポーツ振興を支援します～

《法人・団体特別会員》

若松測量設計(株) (株)ダイユーエイト 福島県商工信用組合 福島テレビ(株) (公財)仁泉会 福島県議会スポーツ振興議員連盟	福島県ゴルフ連盟 (株)環境分析研究所 クリナップ(株)いわき事業所 (福)創世福祉事業団 (株)東邦銀行	福島県信用保証協会 福島県旅館ホテル生活衛生同業組合 (株)テレビユー福島 東北建設(株) (株)ヨークベニマル
--	---	--

《法人・団体会員》

(株)佐藤信博建築設計事務所 川俣貨物(株) 福島ヤクルト販売(株) 福島県信用金庫協会 (財)藤田教育振興会 (株)モリヨシ技研 大宝建設(株) (株)ウエディングエルティ 堀江工業(株) (株)福南電気 (株)クレハ環境 (株)福島中央テレビ FSGカレッジリーグ (株)幸楽苑 (株)旭電化 (一財)大原綜合病院 六陽印刷(株) (株)友愛 (株)グラコム ※他に匿名希望 4 (法人・団体)	名鉄観光サービス(株)福島支店 菅野建設(株) 第一温調工業(株) 福浜大一建設(株) 東信建設(株) (有)カネチョウ坂本商店 原町港湾運送(株) クレハ錦建設(株) (株)クラロンスポーツ (株)セルラー電話サービス福島 江花建設(株) キング印刷(株) (株)海老名建設 タカラ印刷(株) (有)大波商店 (株)ファミリーケア (株)福島放送 入三機材(株) (株)ヤスタ創建	(有)吾妻印刷 福島トヨタ自動車(株) 東北索道協会福島地区部会 (株)ル・プロジェ 磐城通運(株) (有)エンドースクリーン (株)日産サテリオ福島 福島日産自動車(株) (株)東北装美 (株)NIPPO福島統括事業所 (株)ユアテック福島支社 小名浜製錬(株)小名浜製錬所 (株)クレハ生産本部いわき事業所 (株)メディア・ネットワーク 関場建設(株) (株)佐藤商事 福島キャノン(株) 東栄物産(株) (有)佐平
--	---	--

《個人特別会員》

御代田 公 男 山 本 和 子

《個人会員》

佐藤 祀 男 砂子田 敦博 菅野 正 行 壺岐 ひろみ 佐藤 昌 志 富田 孝 志 福田 順 一 鈴木 千賀子 ※他に匿名希望 2 (名)	森 崎 俊 紘 北 村 孝 男 深 谷 秀 三 平 石 家 治 福 本 隆 夫 片 平 俊 夫 廣 瀬 敬 彦 星 本 文	伊 藤 隆 司 太 田 豊 秋 佐 藤 正 史 鈴 木 浩 一 小 松 信 之 堀 田 満 阿 部 正 美 齋 藤 久 男	穴 戸 正 幸 鈴 木 義 祐 渡 邊 正 仁 佐 藤 十 次 荒 川 信 郎 佐 藤 と も 子 石 田 洵	安 藤 喜 勝 木 村 喜 八 郎 佐 久 間 光 弘 永 井 祥 一 国 井 裕 一 下 山 田 好 宏 松 井 遵 一郎	結 城 勝 夫 遠 藤 均 野 田 豪 一 櫻 井 和 朋 長 岐 博 吉 安 齋 常 義 五十嵐
---	--	--	---	--	---

(平成25年4月1日～平成26年3月11日) (ご入金日順・敬称略)

賛助会員加入のお願い

本協会では、県民の皆様からのご支援により本県スポーツの推進を目的とする事業にご賛同いただける賛助会員の募集を年間を通して行っております。
皆様におかれましては、趣旨をご理解のうえ、賛助会員としてご入会いただき、本県スポーツの推進の一層のご支援を賜りますようお願いいたします。

賛助会費(年会費)

- 個人賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
- 法人・団体賛助会員
1口 10,000円(1口以上何口でも可)
※個人会員は3口以上、法人・団体会員は5口以上で特別会員となります。
詳しくは、本協会ホームページをご覧ください。

問い合わせ先

〒960-8065 福島市杉妻町5番75号
公益財団法人 福島県体育協会
電話 024(521)7896
FAX 024(521)7971
E-mail
info@sports-fukushima.or.jp

編集後記

2月7日に開幕したソチオリンピック。自国開催以外では最多の8個のメダルを獲得するなど、日本選手団は素晴らしい活躍を見せてくれました。またソチパラリンピックでは、本県出身の鈴木猛史選手が金メダルと銅メダルを獲得し、県民に感動と勇気を届けてくれました。県内に目を向けると、第69回国体冬季大会において、スケート競技少年女子で優勝、アイスホッケー競技成年男子で13年ぶりに入賞するなど、大いに県民を元気づけてくれました。

これからも県民の皆様にはスポーツの明るい話題を提供できるように努力してまいりますので、ご愛読のほどよろしくお願い申し上げます。

あん スポ安全くん

いざというときしっかりサポート

心配しなくて大丈夫

頼りに
なります!



傷害保険

賠償責任保険

突然死葬祭費用保険

スポーツ安全保険



対象となる事故

団体活動中の事故 / 往復中の事故

保険期間

平成26年4月1日午前0時から平成27年3月31日午後12時まで
(申込受付は平成26年3月から)

加入区分・掛金・補償額 団体活動を行う5名以上の方々でご加入ください。加入区分は加入者ごとに選択ください。

加入対象者	補償対象となる団体活動	加入区分	年間掛金 (1人当り)	傷害保険金額				賠償責任保険 支払限度額 (免責金額なし)	突然死葬祭 費用保険 支払限度額
				死亡	後遺障害 (等級)	入院 (日額)	通院 (日額)		
子ども 中学生以下 特別支援学校 高等部の 生徒を含む。	スポーツ活動 文化・ボランティア・地域活動	A1	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	上記団体活動に加え、個人活動も対象 AW区分の特徴: 個人活動・個人練習なども補償の対象となります。 上段: 団体活動中およびその往復中の補償額 下段: 上記以外(個人活動など)の補償額	AW	1,450円	2,100万円 100万円	3,150万円 150万円	5,000円 1,000円	2,000円 500円	身体・財物賠償 合算1事故5億500万円 ただし、身体賠償は1人1億500万円 身体・財物賠償 合算1事故500万円	対象外
大人 高校生以上 65歳以上の 方も加入 できます。 65歳以上	文化・ボランティア・地域活動、団体の送迎、応援、準備、片付け ※スポーツ活動を行う場合は対象となりません。	A2	800円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	突然死 (急性心不全 脳内出血など) 葬祭費用 180万円
	スポーツ活動 スポーツ活動の指導・審判	C	1,850円	2,000万円	3,000万円	4,000円	1,500円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	
	子どもへのスポーツ活動の指導・審判 ※C区分でも加入可	AC	1,300円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	
	スポーツ活動 ※C区分でも加入可 ※スポーツ活動を行わない場合はA2区分	B	1,000円	1,000万円	1,500万円	2,500円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故5億円 ただし、身体賠償は1人1億円	
全年齢	危険度の高いスポーツ活動	D	11,000円	500万円	750万円	1,800円	1,000円	身体・財物賠償 合算1事故500万円	

※同一団体が1口しか加入できません。中途加入する場合、中途脱退する場合も年間掛金を適用します。加入後の加入者の入替え、加入区分の変更はできません。※危険度の高いスポーツ活動はD区分以外では補償されません。

スポーツ安全協会 検索
インターネットからも
加入受付を行って
おります。詳しくは、
ホームページをご覧ください。

公益財団法人 スポーツ安全協会 福島県支部

〒960-8065 福島市杉妻町 5-75 福島県庁東分庁舎 3号館 TEL024-526-4600 電話受付時間: 午前9時~12時、午後1時~午後5時(土、日、祝日を除く。)

保険の詳細な内容、資料の請求は、
ホームページをご覧ください。

<http://www.sportsanzen.org>

●資料請求は、インターネットより受け付けております。

この広告はスポーツ安全保険(スポーツ安全保険特約書に基づく傷害保険(スポーツ安全協会傷害保険特約・スポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)・突然死葬祭費用担保特約付帯普通傷害責任担保)、賠償責任保険(スポーツ安全協会賠償責任保険特約付帯施設賠償責任担保)及びスポーツ安全協会傷害保険特約(学校管理下外担保)付帯普通傷害責任担保)の概要についてご紹介したものです。ご加入の際は、必ず「スポーツ安全保険のあらまし」および「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は保険約款および特約書により、ご不明の点がございましたら(公財)スポーツ安全協会または東京海上日動火災保険(株)までお問い合わせください。

(引受幹事保険会社)

東京海上日動火災保険株式会社(担当課) 公務第2部公務第1課

TEL 03-3515-4133(平日9:00~17:00)

(共同引受保険会社(平成26年4月予定))

あいおいニッセイ同和 共栄火災 損保ジャパン 大同火災 東京海上日動

日新火災 日本興亜損保 富士火災 三井住友海上

平成25年12月作成 0792-1304-B13259-201312

1701-1304-B13247-201311